

政策シート 政策名 04 安全・安心な市街地の形成

予算費目名 01 市街地整備事業費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

- 交通結節点の機能強化
- 密集市街地及び低未利用地のインフラ整備推進など都市基盤の再構築

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	121,962	80,943	139,892			
決算	141,463	72,349				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	134,500	154,700	160,300			
年間経費(予算又は決算+A+B)	275,963	227,049	300,192			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
施行中の土地区画整理事業進捗率	%	目標	99	99	99	99	99	100
		実績	99	99				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- 交通結節点の機能強化
- 密集市街地及び低未利用地のインフラ整備推進など都市基盤の再構築

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
○組合等区画整理支援事業は、換地計画の作成を先送りしたため、補助金の交付を取りやめた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	(新規) 浜北中央北地区公共施設整備事業	○	—	○		56,057	30,157	3.7				
2	組合等区画整理支援事業	○	—	○		76,880	57,000	2.8			0.1	
3	区画整理地区内水道整備事業負担金	—	—	—		20,876	20,176	0.1				
4	土地区画整理等調査事業	—	—	—		71,831	23,951	6.8			0.1	
5	移転者助成事業(補助金)	—	—	—		920	220	0.1				
6	市街地整備運営経費	—	—	—		73,628	8,388	8.6			1.8	
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						300,192	139,892	22.1			2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	04	01	002120000	01	市街地整備課	鈴木 祥司	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 (新規) 浜北中央北地区公共施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

医療・福祉等のサービス施設を誘導し、公共交通ネットワーク沿いへの人口集積を高め効率的な土地利用を図るため、浜北中央北土地区画整理事業と合わせて公共施設の整備を行うもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3	R12	一般会計		都市計画法、道路法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	III-4(1)イ						
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			30,157			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			30,157			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			25,900			
人工	正規			3.7			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				56,057			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
小林駅の乗降客数(人/日)			目標			2,720	2,760	2,800	2,830
			実績						
周辺居住人口(人)			目標			8,270	8,300	8,330	8,370
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 04 予算費目 01 所属コード 002120000 事業 01 (担当課) 市街地整備課 (責任者) 鈴木 祥司 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 拡大 人工 拡大

浜北中央北土地区画整理事業と合わせて、都市計画道路及び市道の整備を推進する。
令和4年度から用地買収に着手することから、事業費及び人工の拡大が見込まれる。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



県の街路事業認可を受け、小林駅前広場の路線用地測量、詳細設計等に着手する。

事業シート (事業名) 02 組合等区画整理支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

健全な市街地の発展及び改善を図ることを目的に、地権者が共同にて行う組合施行による土地区画整理事業に対し、公共施設整備に係る事業費の一部を補助金交付要綱に基づき補助するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H7	-	一般会計		都市計画法、土地区画整理法、土地区画整理組合に対する助成方針

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	III-4(1)ア						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	20,000		57,000			
	決算	49,500					
	国・県支出	8,750					
	市債						
	その他			56,000			
	一般財源	40,750		1,000			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		31,500	33,880	19,880			
人工	正規	4.5	4.8	2.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		81,000	33,880	76,880			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
施行中の組合土地区画整理事業進捗率(%)			目標	97	98	100	100	100	100
			実績	97	97				
立地適正化計画策定の進捗率(%)			目標	100	-	-	-	-	-
			実績	100	-	-	-	-	-
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	04	01	002120000	02	市街地整備課	鈴木 祥司	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

土地区画整理事業国庫補助金(基本事業費) : 施行地区内の都市計画道路を用地買収方式により整備されることとして積算した事業費の額を限度額として補助するもの。

市補助金 : 土地区画整理事業は、公共施設の整備、健全な市街地の造成により公共の福祉の増進に資することを目的とすることから、一定の範囲内で土地区画整理組合に対して助成を行うもの。

「浜松市組合等土地区画整理事業費補助金交付要綱」により交付を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

船明地区において、換地計画の作成を先送りしたため、補助金の交付を取りやめた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

人口減少社会の到来や限られた財政状況の中で、都市の持続可能性の確保や都市活力の持続・向上のためには、都市計画の基本理念のもと、コンパクトな都市(拠点ネットワーク型都市構造)の実現に向けたより一層の取組が重要となっている中で、都市計画マスタープランの見直しが行われた。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

船明地区については、引き続き早期に保留地処分ができるように、指導・助言を行い、早期事業完了を目指す。また、社会経済状況の変化に対応するため、「浜松市組合等土地区画整理事業費補助金交付要綱」について、補助対象事業を都市計画マスタープランに即した事業に限定するとともに、国庫補助増額のため対象施設を追加する改正を行った。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

各組合の事業進捗に合わせて予算を確保し、効率的に事業を促進する。

今後、浜北中央北地区の事業化に伴い、事業費の拡大が見込まれる。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

土地区画整理事業は、公共施設の整備、健全な市街地の造成により公共の福祉の増進に資することを目的とすることから、道路、河川水路、公園等を用地買収方式により整備されることとして積算した事業費の額を限度として、土地区画整理組合へ「浜松市組合等土地区画整理事業費補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

事業シート (事業名) 03 区画整理地区内水道整備事業負担金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松市水道事業及び下水道事業管理者と協定を締結し、水道施設工事負担金を負担する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H15	R22	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	20,176	20,176	20,176			
	決算	20,176	20,176				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	20,176	20,176	20,176			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		20,876	20,876	20,876			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	04	01	002120000	03	市街地整備課	鈴木 祥司	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

○ 浜北新都市水道施設工事負担金
「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する覚書(平成15年10月27日締結)」に基づき、浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金を負担する。
平成22年度工事分までを対象とし、償還完了は令和22年度とする。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度
浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金(令和2年度分)を計画どおり支出した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金(令和2年度分)を計画どおり支出した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する覚書(平成15年10月27日締結)」に基づき、浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金を令和22年度まで計画どおり支出する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

○ 浜北新都市水道施設工事負担金
「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する覚書(平成15年10月27日締結)」に基づき、浜松市水道事業及び下水道事業管理者と「浜北新都市開発整備事業に係る上水道事業の負担に関する協定書」による協定を締結し、浜北新都市水道施設工事負担金を負担する。
平成22年度工事分までを対象とし、償還完了は令和22年度とする。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	04	01	002120000	04	市街地整備課	鈴木 祥司	R3.7.1

事業シート (事業名) 04 土地区画整理等調査事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

土地区画整理事業等に必要となる行政手続きや各種調査を実施し、円滑な事業の推進を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H15	—	一般会計		都市計画法、土地区画整理法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業等の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	70,292	52,314	23,951			
	決算	65,103	47,528				
	国・県支出						
	市債						
	その他			23,000			
	一般財源 一般会計繰入金	65,103	47,528	951			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,700	14,280	47,880			
人工	正規	1.1	2.0	6.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1	0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		72,803	61,808	71,831			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

土地区画整理事業の計画段階における各種調査、研究等の実施
市街地再開発事業の事後評価業務の実施



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(仮)高塚駅北第2土地区画整理事業について、道路基本設計等業務、概略換地設計業務、実施計画(事前協議)作成業務、公共事業事前評価資料作成業務及び遺跡試掘調査を実施した。

(仮)浜北中央北土地区画整理事業について、令和3年度事業化に向け公共事業事前評価資料作成業務、街路事業認可資料作成業務、公共施設管理者負担金調書作成業務及び遺跡試掘調査を実施した。

旭・板屋地区第一種市街地再開発事業について、公共事業事後評価業務を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

人口減少社会の到来や限られた財政状況の中で、都市の持続可能性の確保や都市活力の持続・向上のためには、都市計画の基本理念のもと、コンパクトな都市(拠点ネットワーク型都市構造)の実現に向けたより一層の取組が重要となっている中で、都市計画マスタープランの見直しが行われた。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(仮)高塚駅北第2土地区画整理事業について、道路等の基本設計を行い、公共施設の管理者との協議を実施し、設計内容について理解を得ることができた。社会資本整備総合交付金の活用から、より総合的集中的な支援が可能となる個別支援制度「都市構造再編集中支援事業」の活用へ見直しを行った。(仮)浜北中央北土地区画整理事業について、都市整備部公共事業評価審査会において、「事業を実施すべきである。」との判断を得ることができた。旭・板屋地区第一種市街地再開発事業について、事業完了後の事業の効果、影響等を確認することができ、部公共事業評価審査会のための基礎資料を得ることができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(仮)高塚駅北第2土地区画整理事業について、事業計画作成業務、雨水地下調整池予備設計、実施計画作成業務、減価補償金算定業務、移転計画案策定業務、地質調査業務、地区界測量業務、埋蔵文化財試掘調査を進めていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

土地区画整理事業等の計画段階における各種調査、研究等の実施

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	04	01	002120000	05	市街地整備課	鈴木 祥司	R3.7.1

事業シート (事業名) 05 移転者助成事業(補助金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

都市計画事業(土地区画整理事業)の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補助金交付要綱に基づき、貸付資金のあっ旋及び貸付に伴う利子補助を貸付金融機関に対して行い、事業の進捗を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H12		一般会計	自治事務(その他)	浜松市都市計画事業の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補助金交付要綱

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	522	426	220			
	決算	321	253				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	321	253	220			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	700	700			
人工	正規	0.2	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,721	953	920			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 04 予算費目 01 所属コード 002120000 事業 05 (担当課) 市街地整備課 (責任者) 鈴木 祥司 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

土地区画整理事業の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補助金交付要綱に基づき、貸付資金のあっ旋及び貸付に伴う利子補助を貸付金融機関に対して行うもの。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

浜松磐田信用金庫、とぴあ浜松農業協同組合、静岡県労働金庫に対し補助金を交付することにより、土地区画整理事業の進捗が図られた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、対象者に対し補助金を交付することにより、土地区画整理事業の進捗を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

土地区画整理事業の施行に伴う代替地取得資金等償還利子補助金交付要綱に基づき、貸付資金のあっ旋及び貸付に伴う利子補助を貸付金融機関に対して行うもの。

事業シート (事業名) 06 市街地整備運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市街地整備課の事業(土地区画整理・再開発事業等)に係る、関係機関・団体等との連絡・調整及び情報収集などを実施し、事業の進捗を図る。また、所管市有地の管理、仮換地指定等に伴い使用できない土地の損失補償を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H10		一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	土地区画整理事業の推進により、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善、包摂的かつ持続可能な都市化の促進、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスの提供を促進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	10,972	8,027	8,388			
	決算	6,363	4,392				
	国・県支出						
	市債						
	その他	28	32	32			
	一般財源	6,335	4,360	8,356			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		93,200	105,140	65,240			
人工	正規	12.4	14.3	8.6			
	再任用(h31)	1.0					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.8	1.8			
年間経費(予算又は決算+A+B)		99,563	109,532	73,628			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 04 予算費目 01 所属コード 002120000 事業 06 (担当課) 市街地整備課 (責任者) 鈴木 祥司 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

最低限必要な一般諸経費の執行により、市街地整備課の事業(土地区画整理・再開発事業等)を円滑に推進する。国・県・他市町村、関係機関、関係団体等との連絡・調整及び情報収集を実施し、交付金確保及び適切な事業を執行し、事業の進捗を図る。

市街地整備課所管の市有地の除草等管理をする。

仮換地の指定等に伴い、従前地及び仮換地共に一部または全部が使用できない場合の土地の損失補償をする。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

最低限必要な一般諸経費の執行により、市街地整備課の事業(土地区画整理・再開発事業等)を円滑に推進する。国・県・他市町村、関係機関、関係団体等との連絡・調整及び情報収集を実施し、交付金確保及び適切な事業を執行し、事業の進捗を図る。

市街地整備課所管の市有地の除草等管理をする。

仮換地の指定等に伴い、従前地及び仮換地共に一部または全部が使用できない場合の土地の損失補償をする。